

# 令和4年度シンポジウム「令和2年7月豪雨からの復興に向けて」 開催報告

1. 日 時：令和4年7月19日（火）13：30～17：30
2. 会 場：ホテル熊本テルサ テルサホール
3. 主 催：くまもと技術革新・融合研究会（RIST）、公益財団法人くまもと産業支援財団
4. 後 援：熊本県、熊本県工業連合会、熊本県情報サービス産業協会、熊本日新聞社
5. 参加者：92名（産：22名、学：21名、官：49名）
6. プログラム：

■主催者挨拶 RIST 会長 熊本大学 特任教授 末吉 敏則

■来賓挨拶 熊本県 副知事 田嶋 徹 氏

■演 目

プロローグ「令和2年7月豪雨からの復興に向けて」

熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター長 柿本 竜治 氏

第1部

基調講演1

「令和2年7月豪雨被害の状況及び未来型復興について」

人吉市長 松岡 隼人 氏（オンラインでのご登壇）

基調講演2

「豪雨災害の教訓と復興まちづくり」

球磨村長 松谷 浩一 氏（オンラインでのご登壇）

第2部 事例報告

1) 「早期復旧に向けた仮橋の検討」

熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 教授 松村 政秀 氏

2) 「フェーズフリーな防災DX施策について

（平時からの取り組みで『逃げ遅れゼロ』に挑戦）」

日本電気株式会社 スマートシティ事業推進部門 シニアディレクター 橋本 研一郎 氏

3) 「迅速な応急仮設住宅供給のための自動設計システムの開発」

大和ハウス工業株式会社 技術統括本部 建設DX推進部 次長 宮内 尊彰 氏

4) 「コロナ禍での災害～人吉球磨地域の保健・医療・福祉対応」

熊本県 菊池保健所 所長 剣 陽子 氏

5) 「八代市坂本町の歴史的建造物の復興」

熊本高等専門学校 建築社会デザイン工学科長 教授 森山 学 氏

6) 「球磨村の再生可能エネルギーで走る電動スクールバス実証事業について」

熊本大学 先端科学研究部 シニア准教授 松田 俊郎 氏

第3部 令和2年7月豪雨からの復興に向けたパネルディスカッション

モデレーター 熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター長 柿本 竜治 氏

パネリスト 登壇者等

■熊本県からのご挨拶、締め言葉 熊本県 副知事 田嶋 徹 氏

司 会：熊本大学大学院先端科学研究部 シニア准教授 松田 俊郎

## 7. 特記事項

令和2年7月豪雨から2年を経過した7月19日に、人吉球磨地方の豪雨災害からの復興をテーマとした題記シンポジウムを開催した。基調講演として、人吉市松岡市長、球磨村松谷村長に、人吉市と球磨村の豪雨災害からの復興の状況を説明頂き、続いて、産学官の復興に向けた様々な取組みとして、日本電気(株)、大和ハウス(株)から防災DXと仮設住宅の自動設計システムの説明、熊本大学、熊本高専から工学系の活動3件、熊本県菊池保健所から豪雨災害時の教訓の紹介があった。最後にシンポジウムのまとめとして、熊本大学 柿本先生をモデレータとしたパネルディスカッションを行って、今後の復興の課題や方向性の議論を行った。

当日は熊本県田嶋副知事もフルに参加させて頂き、自治体からの参加者が半数を占めるなど、今後の人吉球磨地方の復興に有効なシンポジウムになったと考えている。



第1部 基調講演1 松岡人吉市長



第1部 基調講演2 松谷球磨村長



第3部 パネルディスカッション



(ご挨拶) 田嶋副知事